

2015年5月25日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第28号

イパネマ地区で銃撃戦事案が発生

報道及び第23軍警察司令官から当館が聴取した情報によれば、リオ市イパネマ地区において警察官と容疑者との間で撃ち合いが発生しました。事案の概要は以下のとおりですが、比較的治安の良いとされている南部地区においても、拳銃等を所持した犯罪者がターゲットを物色していることが伺われ、強盗事件などの犯罪がいつ発生するかわからない状況にあることを肝に銘じ、犯罪に遭う確率を下げするため、最大限の努力を怠らないよう願います。

1. 発生日時

5月24日(日)午後8時頃

2. 場所

リオ市イパネマ地区ヴィニシウス・デ・モラエス通り近辺
(レストラン等が点在し邦人も食事等でよく利用する地区)

3. 状況

- (1) 上記地区のヴィニシウス・デ・モラエス通り(Rua Vinicius de Moraes)をパトカーで巡回中の軍警察官2人は、自転車に乗った怪しい人物(1名, 男性)を見つけ追跡した。同通りにおいて、自転車にパトカーを追突させ、容疑者は自転車から落ち、その後、ヴィスコンデ・デ・ピラジャ大通り(Av. Visconde de Piraja)、ファルミ・デ・アモエド(Rua Farne de Amoedo)において、警察官との銃撃戦となった。
- (2) 同容疑者は怪我を負った模様だが、カンタガロスラム街(Favela do Cantagalo)方面へ逃亡した。銃撃戦による怪我人はでなかったが、流れ弾により、ヴィスコンデ・デ・ピラジャ大通りにある店「Amor Perfeito」のガラスが破損した。

4. 留意事項

- 常に周辺に気を配り、危険を感じたら、安全を確保する待避行動をとりましょう。
- 銃声を聞いた場合は、可能な限り低い姿勢をとり、不用意に動かないようにしましょう。
- 万が一強盗に遭ってしまった場合は、決して抵抗せず、犯人の要求に従ってください。